

## 市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成31年2月14日（木）午後7時30分～午後8時50分
会場	美原町公民館
地域座談会の内容（質疑応答の内容等）	
<p>①子育て支援の定住関係の補助事業については、年度内着工、年度内完成のものが対象となっているが、年度を越す事業も該当するよう、制度を改善してはどうかか。</p> <p>→この事業は、原資として国の交付金を活用し制度を運用しています。その都合、原則として年度を越すことが困難なため、年度内での着工から完成を要件としています。ご理解をお願いいたします。</p> <p>②雪フェスティバルは、今後自前の予算で対応しなければなくなると聞かすが、市民から負担をいただいても引き続き実施していくべきではないか。</p> <p>→7回目以降（3年後）は、国の交付金がなくなる可能性があります。23万近い人が訪れる、寒河江で最大のイベントになっていますので、ふるさと納税の活用も含め、色々な方法を検討していきたいと思えます。</p> <p>③寒河江焼き鳥課の活動を新聞で見た。商工会青年部も協力し、寒河江ブランドを成長させたいと思う。</p> <p>→仕事以外の「がんばる取り組み」を応援するのも市長の仕事だと考えており、職員一人一人の個性を伸ばしながら、柔軟な組織ができてほしいと思っています。商工会の若手の方にも輪が広がればすばらしいと思えます。</p> <p>④市立病院から陵南中まで開通した道路は、除雪した雪で車道が狭くなるので、車道をもう少し広げてほしかった。</p> <p>→この道路は、規格通りの幅で作っております。今後の道路整備に生かすよう検討していきます。</p> <p>⑤街路樹（ケヤキやカツラなどの大木・高木）はいらない。風があれば、花や葉が電線に触れ、秋には葉が落ちて、掃いても掃ききれない。</p> <p>→地域の皆さんの合意が必要なので、町会等で話しをまとめていただき、要望していただきたいと思えます。剪定などの方策についても、対応を検討いたします。</p>	

⑥街路樹を「ケヤキからハナミズキに変えた」という大阪のほうの取り組みを聞いたことがある。大幅に経費削減になり、喜ばれていると聞いた。

→市でもいろいろな事例を勉強して地域の要望になるべく沿えるように、検討していきたいと思います。

⑦山林の管理を個人ができなくなった場合、今後森林環境譲与税等で自治体が行うことになるが、所有界がわからなければ管理もできないので、林野庁の補助事業を利用して、地籍調査等の境界を明確にする事業を進めてはどうか。

→4月から森林経営管理制度が始まりますので、今後、森林に係る情報の収集や境界明確化に向けた取組を進めていく考えです。その際は、活用できる補助事業はしっかり使っていきたいと考えています。

⑧全国的にも、「空き家」は大きな問題になっており、上山市のように官民が一体になり、事業所や不動産業者、大学などもいっしょになって取り組みを進めてはどうか。

→本市では、宅建協会と協力して空き家バンクを設けたり、寒河江に移住し空き家に住む方に、市が手直しする経費を補助する制度を設けるなどの対策を講じています。更にシルバー人材センターとも空き家管理の連携をしておりますが、官民一体となって全体のネットワークを築ければ情報が共有され、良い方向に行くと思います。勉強させてください。

⑨ふるさと納税の制度がずっと続くのか、市長の考え方を教えてほしい。

→ふるさと納税の制度は、長期にわたって続けてほしいと考えています。そのためにも、ふるさと納税制度の主旨を逸脱しないようにしています。寄附額は毎年伸びていなくても、安定的な収入を見込めるようであればよいと考えています。

⑩ふるさと納税の返礼品は寒河江市では何種類あるのか？

→時期（季節）により変動しますが200～250種類です。

⑪寒河江のふるさと納税の寄附額が増えた理由は？

→60kgの米を一度にではなく、定期便として分割して送る方法が好評で、寄附額が大きく増えるようになりました。また、「地元産のもので、悪いものは出さない」というこだわりも大切であると思っています。

⑫国や県で「障がい者雇用」が問題になっているが、寒河江市は大丈夫か？

→障がい者手帳を持った人を雇用しており、法定雇用率も達成しております。